

シリーズ「高大接続研究の現在：格差と大学入学後の支援策」

Actualité de la recherche sur le bac - 3/+3 :

Quelles inégalités et quels dispositifs sur les campus?

フランソワ・ルクレール（パリ第8大学・教育学部准教授）

「初年次における学生の成功のためのリソースと協力：パリ第8大学の事例」

« Ressources et coopérations au service des réussites étudiantes en L1. L'expérience de l'Université Paris 8 »

2025年3月18日（火） 15:00～17:00

滋賀大学大津サテライトプラザ（日本生命ビル4F）
セミナー室（大津市末広町1番1号）JR大津駅前



フランスでは大学は、高等教育の中でも中等教育卒業資格を取得していれば登録が可能で比較的開かれた場です。そのようなシステムである以上不可避免的に発生する中退や留年は長年問題とされてきましたが、近年では各大学でさまざまな支援策が実施されています。

民主的な高等教育のあり方について考える一つのヒントとして、今回はパリ郊外・サンドニ県に位置し多くの庶民階層の学生を受け入れているパリ第8大学において2020年より設置された、学業に困難を感じる学生や、進路変更を希望する学生向けの特別コースの取り組みについてお話しいただきます。（フランス語・通訳付）



Contact: Chihiro TAGAWA (Univ. de Shiga) ctagawa [at] edu.shiga-u.ac.jp

企画：田川千尋（滋賀大学）

科研：基盤研究C（24K05763）フランスの学生支援の総合的研究：社会格差の是正を目標とした支援に注目して
（代表：田川千尋）

お申し込みはこちら↑
または左記メールまで